宇久中だより2017

佐世保市立宇久中学校　学校通信
（平成２９年１２月３号）
文責　校長　田雜　健
平成 29 年 12 月 15 日(金)発行

学校教育目標　：　ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像　：　素直で心豊かな生徒　・　自ら考え、主体的に学ぶ生徒　・　強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行　：　心のこもったあいさつをする　授業に集中する　生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う　清掃活動に力を入れる

人権標語を紹介します

６月から計画的に紹介するはずだったのですが、ちょうど半分紹介したところで止まっていました。深く反省するとともに、残り１３名分の力作を紹介します。

○「みてるだけ　自分にいくら言ったって　受けてる人には　立派な加害者」
○「笑ってる　本当は心で泣いている　本当の笑顔にしてあげようよ」
○「やめて下さい。その人にも家族や親友が・・・」
○「救いの手　きっと待ってるはずだから　言葉をかけよう「大丈夫」」
○「少しの勇気で相手を救える　一声かければ相手が変われる」
○「言いにくい　だけど言ったら変われる未来」
○「気づいたら優しい気持ちで守ろうよ」
○「勇気を出して助けよう　仲間を守れば強い人」
○「怖いから笑って見てるそこの君　そんな笑顔で本当にいいの」
○「さし出して　その手の温もり　心へと」
○「いじめって　はずかしいよ人として　自分の心みつめてごらん」
○「人と人が支え合う　でもなぜ君ら　人の心を傷つける？」
○「太陽のごとく光あれ　曇っていない？　あなたの心」

新生徒会へ



１３日に演説会、投票が行われ、本校を担う次期会長が決定しました。これに伴い会長を支える新役員も今後決定していくことになると思います。前号でも述べましたが、本校生徒全員が会員となり組織されている生徒会です。会長はじめ新役員を軸に、先輩からのバトンをしっかりと受け継ぎ、今後宇久中を盛り立ててくれることを大いに期待しています。

引き続き、インフルエンザに注意

前号でも注意を促しましたが、佐世保市内のインフルエンザはまだまだ収まる気配を見せていません。繰りかえしになりますが、

１　予防接種を受けているといっても油断しないこと。もちろん、「自分はかからない」と変な自信をもたないこと。
２　「**うがい、手洗い、マスク着用**」を実践すること。
３　「**早寝、早起き、朝ご飯**」の基本的な生活リズムを守り、体力の維持・向上に努めること。

まずは予防に努め、もしかかったかな？と思ったら、すぐ受診して治療しましょう。無理は禁物です。まずは健康第一！

佐世保市人権教育研究大会に参加して

１２月１１日（月）、第３４回佐世保市人権教育研究大会に参加しました。

開会行事の中で、学校における人権教育の在り方について、「人権についての教育」「人権としての教育」「人権を通じての教育」「人権のための教育」という人権教育の４つの側面を話されました。本校も人権週間を一つの機会として、様々な取組を行っていますが、示された４つのポイントを十分に押さえることができたのか検証し、よりよい学びにつながるように心していきたいと思います。

続いて、社会福祉法人くまもと障害者労働センター代表の倉田哲也さんを講師に、「障害を克服するのではなく障害者差別をなくしたい　～共生社会を目ざして～」と題した講演が行われました。手が不自由な倉田さんは、仕事の幅、生活の幅を広げるために、足だけで運転できるように自動車を改造し、運転免許取得にチャレンジされ、幾度も壁に当たりながらもみごと合格され、この大会にも熊本から運転してお見えになったとのこと。『「どうせ」という言葉を「せっかく」という言葉に変えること。自らの可能性を閉ざしていないか』という問いかけには、考えさせられました。そのほか、分科会にも参加しましたが、実に学ぶことの多い研究大会でした。

１２月１１日（月）学校開放日にはご多用の中、ご来校いただきありがとうございました。今回は行事ではなく、普段の授業の様子をご覧いただきましたが、生徒の学ぶ姿はいかがだったでしょうか。



開放日に限らず、よろしければ学校に足をお運びください。お待ちしております。

ココロねっこ 10
子どもや子育て家庭を温かく見守り、相談にのりましょう。



子育てを終えた方など家庭に子どもがいない方も、子どもや子育て家庭を見守ってください。

子どもが安心して過ごすことができる地域、あいさつや声かけが自然と交わされる地域、大人同士が地域で協力しあう地域では、そうでない地域と比べて、子どもの社会性が育つと言われています。



また、周囲からのあたたかいまなざしややさしい声かけは、親の子育ての不安や負担を軽減するなど、好ましい影響を与えます。

一方で、幼い子どもを連れた親が、周囲の迷惑そうな視線を感じるなどして、地域の中で子育ての楽しさを感じることができないという調査結果もあります。子育てが孤立した「孤育て」となり、親は一層地域との関わりを避けることにつながり、子どもの成長にも影響を与えます。自立に必要な誠実さ、忍耐強さ、社会性等は人との関わりの中で育まれ身に付けられるものだからです。

出典：「ココロねっこ運動」長崎県青少年育成県民会議より

出典にも記しているように、10 月 28 日の「佐世保市青少年育成懇談会」の折に頂戴した『ココロねっこ運動』の冊子から、コラムを紹介してきました。同運動については学校 HP でも紹介しています。「大人が変われば子どもも変わる」「できることから、大人から」をテーマに広く県民運動として取り組まれています。

「長崎っ子の”夢・憧れ・志”、
大人が示すその姿」